

イベントレポート

咲くやこの花賞受賞記念

京山幸太「浪曲と笑いの渦」

2025年2月18日（火） 19:00～20:30（18:30開場）

会場＝大阪俱樂部ホール（4階）

出演／

京山幸太

（令和5年度咲くやこの花賞大衆芸能部門〔浪曲〕受賞）

曲師：一風亭初月

ゲスト：錦鯉（お笑いコンビ）



【プログラム】

口上

新作浪曲 三条凡児より「波乱の生徒会長選挙」（原作＝町田康）

《中入り》

コント 京山幸太

漫才 錦鯉

浪曲 寛政力士伝より「雷電と八角」

【開催概要】

浪曲師・京山幸太さんの咲くやこの花賞受賞を記念し、『浪曲と笑いの渦』を開催しました。本公演では、京山さんによるオリジナルのプロレス浪曲や古典浪曲に加え、お笑いネタも披露されました。特別ゲストには、お笑いコンビの錦鯉（にしきごい）さんが登場し、会場を大いに盛り上げました。



ロビーの様子



会場内の様子



新作浪曲 三条凡児より「波乱の生徒会長選挙」 (原作=町田康)



冒頭では、昨年「文化庁芸術祭新人賞」を受賞した京山さんが、今回の咲くやこの花賞について、芸の力量だけでなく創作力まで評価されたことがとても嬉しかったと語りました。

公演前半は新作浪曲からスタート。架空のプロレスラー“三条凡児”の青春を描いた三条凡児より「波乱の生徒会長選挙」が披露され、観客を笑いと感動の渦へと引き込んでいきます。物語のテンポや展開の巧みさからは、浪曲の新たな可能性を感じさせる内容となっていました。



コント



漫才



浪曲 寛政力士伝より「雷電と八角」

後半は、京山幸太さんのコントからスタートし、スペシャルゲストの錦鯉さんが登場。おなじみの一発ギャグやテンポのよい漫才で会場を沸かせ、浪曲との異ジャンルコラボレーションによる新鮮なステージが展開されました。また、京山さん自身もピンコントに挑戦し、浪曲師の枠を超えた幅広い表現力で大きな拍手を受けていました。

後半の締めくくりには、浪曲『寛政力士伝』より「雷電と八角」が披露されました。前半・後半を通じて挑戦的な表現と王道の浪曲、その両方を味わえる公演となりました。



終演後には、恒例となっている「大阪倶楽部の館内ツアー」を実施。近代建築としても知られる会場内を来場者に自由にご覧いただき、芸術と文化を複合的に楽しめるひとときとなりました。

最後に京山さんは、「浪曲は伝統芸能でありながら、大衆芸能でもあります。どうぞ自由に、型にとらわれず楽しんでください」と語り、さらに「今年は新たなシリーズ作品を作り、いつか“古典”と呼ばれるような浪曲を生み出していきたい」と、未来への力強い意気込みを語っていただきました。